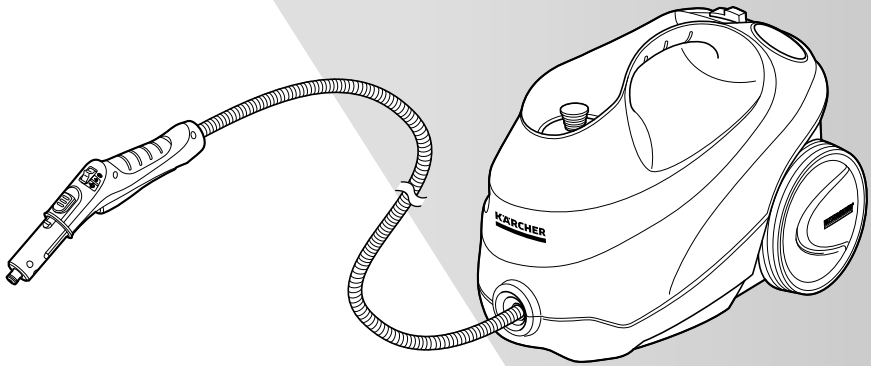
makes a difference

ケルヒャー家庭用スチームクリーナー

SC 3 EasyFix

取扱説明書



この度は、ケルヒャー家庭用スチームクリーナーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用前に取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。お読みになられた後は、本書をすぐに取り出せる場所に保管してください。

※仕様・外観は、開発・改良により予告なく変更する場合があります。

※この製品は家庭用です。業務用としての使用は想定しておりません。

SC 3 EasyFix
2018.05
5.968-427.0

仕様一覧

SC 3 EasyFix 仕様一覧	
品番	1.513-117.0
電源	100 V
消費電力	1,500 W
スチーム吐出圧力	0.35 MPa (※ 1)
タンク容量	1.0 L
ヒートアップタイム	約 30 秒 (※ 2)
本体寸法（長さ×幅×高さ）	360 × 236 × 253 mm
本体質量	3.1 kg
電源コード長さ	4 m
防水性能	IPX4
＜使用の目安＞	
清掃面積	75 ㎡ (※ 3)
スチーム連続噴射時間	約 30 分 (※ 4)
定格使用時間 ※ 5	2 時間

※ 1　1MPa=10.2kgf/㎠
※ 2　水温 20℃の場合
※ 3　一般的な住宅の汚れに対し、1 回 1.0 L の給水で清掃できる面積の目安
※ 4　1 回 1.0 L の給水で連続噴射できる時間
※ 5　電源スイッチが入っているときの合計時間

目次

はじめに

はじめにお読みください.....4

梱包内容の確認.....4

各部の名称と機能.....5

ご使用前の注意事項.....6

はじめてお使いになる前に.....11

スチームクリーナーとは？.....11

準備

初回の準備.....12

本体を組み立てる.....12

スケール除去カートリッジを取り付ける.....12

水の硬度設定を変更する.....13

STEP 1：タンクに給水する.....16

使用開始前に給水する.....16

STEP 2：電源プラグをコンセントに差し込む.....17

STEP 3：ヒートアップを行う.....18

使い方

洗浄を開始する.....19

アクセサリーを取り付ける.....20

各種アクセサリーの取り付け方.....20

ノズルヘッドとブラシの取り付け.....21

ハンドブラシとハンドブラシ用マイクロファイバーカバーの取り付け.....21

イージーフィックス フロアノズルの取り付け.....22

いろいろな場所の清掃方法.....23

使用中に給水する.....26

洗浄を中断、終了する.....27

お手入れと点検、保管

スケール除去カートリッジの交換.....29

スケール除去カートリッジの交換時期.....29

スケール除去カートリッジを交換する.....30

点検と保管.....31

使用前点検.....31

定期点検.....31

保管.....32

その他

困ったときは.....33

オプションアクセサリー一覧.....34

補修部品.....35

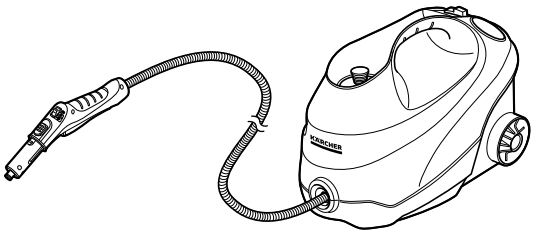
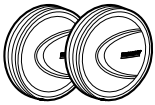
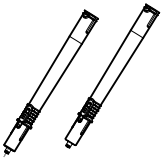
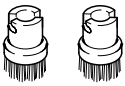
保証書.....38

製品に関するお問い合わせ.....40

はじめにお読みください

梱包内容の確認

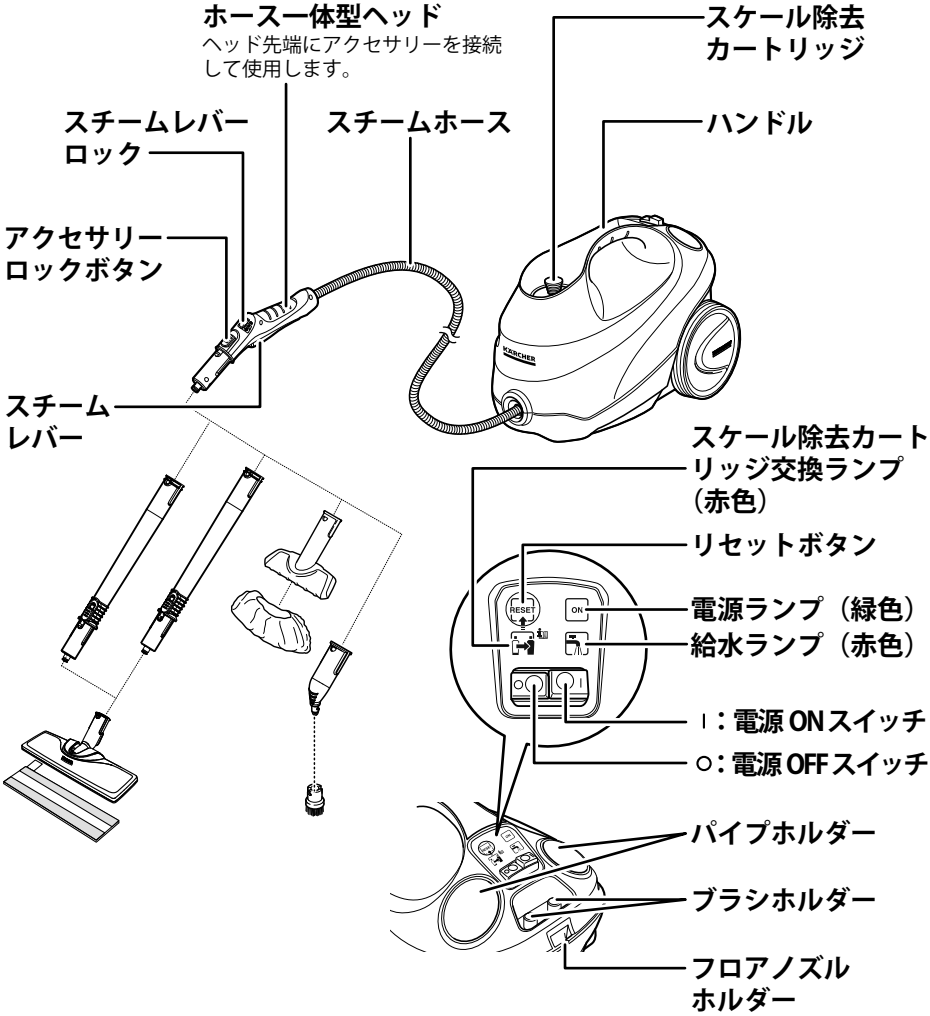
本機をご使用いただく前に、全ての付属品が揃っていることをご確認ください。
仕様変更・セット品の変更により、製品の形状と図・名称が一致しない場合があります。

1  本体		2 キャスター 1 個 3  ホイール　2 個
4  パイプ　2 本	5 ノズルヘッド　1 個	6  ブラシ 黒　1 個 ブラシ 黄　1 個
7 ハンドブラシ用マイクロファイバーカバー 1 枚	8 ハンドブラシ	9 イージーフィックスフロアノズル
10 イージーフィックスフロアノズル用マイクロファイバークロス　1 枚	11 スケール除去カートリッジ 1 個	12 取扱説明書　1 部（本冊子）

MEMO

- この製品はテスト後に出荷されているため、水分が多少残っている場合がありますが製品の性能に問題はありません。

各部の名称と機能


ホース一体型ヘッド
ヘッド先端にアクセサリーを接続して使用します。
スケール除去カートリッジ
スチームレバーロック
スチームホース
ハンドル
アクセサリーロックボタン
スチームレバー
スケール除去カートリッジ交換ランプ（赤色）
リセットボタン
電源ランプ（緑色）
給水ランプ（赤色）
RESET
ON
I：電源 ON スイッチ
O：電源 OFF スイッチ
パイプホルダー
ブラシホルダー
フロアノズルホルダー

ご使用前の注意事項

使用目的について

- 本製品は高温のスチームを噴射して、汚れを落とすための製品です。それ以外の目的で使用しないでください。
- 本製品は一般家庭用です。業務用として使用しないでください。
- 本書に記載されていない使用方法によって生じた損害について当社は責任を負いません。

使用対象者について

本書を理解して、正しく使用できる方。

本書に従って取り扱うことができない方が使用する場合は、必ず安全面で責任を持てる方が監督してください。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、本製品を安全に正しくお使いいただき、ご自身や他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するためのものです。

注意事項を「警告」と「注意」に区別して明示していますので、お使いの際には、必ずお守りください。

⚠ 警告	この表示に従わずに、誤った扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示に従わずに、誤った扱いをすると、人が軽傷を負う可能性がある内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

次の記号は、注意（警告を含む）を促す内容であることをお知らせするものです。

⚠	安全にかかわる注意情報を示しています。
	ヤケド注意 高温のスチームが噴出することがあります。（本体表示）

次の記号は、してはいけない内容であることをお知らせするものです。

⃠	してはいけないことを示しています。

次の記号は、実行しなければならない内容をお知らせするものです。

❗	実行しなければならないことを示しています。

一般的なご注意

⚠警告

子供には触らせないこと
ケガをする恐れがあります。

分解や改造をしないこと
火災、感電、ケガの原因になります。
修理が必要なときはケルヒャー ジャパン修理センターへご連絡ください。

付属品や交換用の部品はケルヒャー純正品を使用すること
純正品以外を使用すると火災、感電、ケガの原因になります。

本体、電源プラグに水をかけないこと
感電やショートする恐れがあります。

修理はケルヒャー ジャパン修理センターに依頼すること
個人の修理で生じたケガ、事故、不具合に関しては一切の責任を負いません。

使用時のご注意

⚠警告

火気のそばに置かないこと
本体が変形し故障や火災につながる恐れがあります。

ぬれた手で電源プラグを触らないこと
感電する恐れがあります。

スチームを人体または動植物に向けて使用しないこと
ヤケドの原因になります。

雨天時に野外で使用したり、水を本体に直接かけたりしないこと
感電やショートの恐れがあります。

スイッチを入れたまま電源プラグを抜かないこと
感電する恐れがあります。

本機から離れるときは、スイッチを切ること
使用方法を知らない人が操作し、ヤケドやケガをする恐れがあります。

異音、異臭、過熱時は直ちに使用を中止し、コンセントからプラグを抜くこと
火災、感電、ヤケド、ケガの原因になります。

お湯を入れて使用しないこと
お湯を入れると機器が正しく作動せず、ヤケドを負う恐れがあります。 必ず常温の水道水を使用してください。

⚠注意

熱に弱い床材の上で使用しないこと
スチームの熱で変形・変色する恐れがあります。

洗浄前に材質を確認し、テスト洗浄を行うこと
洗浄部分の材質によっては、変色・変形など洗浄物を傷める恐れがあります。

1か所に留めてスチームを当てないこと
変色・変形など洗浄物を傷める恐れがあります。

窓ガラスを清掃するときは以下のことに注意すること
・ノズルを窓ガラスに近づけすぎない。
・1か所に留めてスチームを当てない。
ひび割れの原因になります。
ワイヤー入りガラス、厚板ガラスの清掃は特にご注意ください。 ガラスの膨張率の違いにより割れる場合があり、ケガをする恐れがあります。

ガラス製品に傷がある場合は洗浄しないこと
割れる場合があります。

違和感や熱いと感じたら、直ちに使用を中止すること
スチームレバーを長時間握り続けて使用すると低温ヤケドを負う場合があります。 違和感や熱いと感じたら、直ちに使用を中止してください。

スチームホースを無理に引っ張ったりねじったりしないこと
スチームホースが損傷します。

アクセサリーを着脱するときは、スチームレバーロックをかけること
ロックしていない場合、スチームレバーに誤って触れてスチームが噴出し、ヤケドを負う場合があります。

アクセサリーの着脱はアクセサリーが冷えてから行うこと
アクセサリー内部に残った熱湯が滴り、ヤケドを負う恐れがあります。

アクセサリーは確実に取り付けること
確実にロックされていない場合スチームが漏れ、ヤケドの原因となります。

水道水のみを使用すること
井戸水、アルカリイオン水、酸性水などを使用すると故障の原因になります。

溶剤（シンナーなど）、洗剤、油（ガソリンなど）、薬品などをタンクに入れて使用しないこと
故障、ヤケド、健康被害の原因になります。

スケール除去カートリッジの交換を怠ったり、カートリッジを取り付けていない状態で使用したりしないこと
故障の原因となります。

転倒の恐れがある不安定な場所や、本体を倒した状態で使用しないこと
本体が倒れた場合、タンク内の水がこぼれて故障の原因となります。

コンセント、電源プラグ、電源コードについてのご注意

⚠警告

感電・ショート・火災の原因になります。

タコ足配線はしないこと
複数の電気製品（パソコン・電子レンジ・ドライヤーなど）を同じコンセントで使用した場合、電源ケーブル、コンセントや屋内配線の過熱につながり、火災を引き起こす恐れがあります。

コードを引っ張らないこと
引き抜くときは先端のプラグを持ってください。コードが損傷すると、感電やショートを起こし火災を引き起こす恐れがあります。

電源プラグは確実に差し込むこと
コンセントに接続した際にゆるみ、ガタつきがある場合、製品や電源プラグ、屋内配線の過熱につながり、発火を引き起こす恐れがあります。

電源プラグが変形している場合は使用しないこと
電源プラグが変形していたり、電源プラグの歯が曲がっている場合は、製品や電源プラグ、屋内配線の過熱につながり、発火を引き起こす恐れがあります。

家庭用 100V のコンセントを単独で使用すること
本製品は 1500W 仕様です。
他の電気製品と同じコンセントを共用しないでください。 洗面化粧台のコンセントでは使用できません。

延長コードは、定格 15 A・1500 W 以上、プラグおよびソケットが防水仕様で 10 m 以下のものを使用すること
屋内配線の過熱につながり発火を引き起こす恐れがあります。

延長コードリールはコードを完全に引き出して使用すること
コードリールのコードを巻いたまま使用すると、コードリール、製品や延長コード、屋内配線の過熱につながり、火災を引き起こす恐れがあります。

保管場所のご注意

⚠注意

凍結する場所には保管しないこと
凍結した場合、本体内の配管が損傷します。

お手入れについてのご注意

⚠警告

500 作業時間ごとに定期点検を実施すること
定期的にケルヒャー ジャパン修理センターによる有償点検を受けてください。
点検を実施しない場合、加熱不良、過熱、スチーム吐出不良などのさまざまな不具合が生じます。

本体内に残った水の排出は、本体冷却後に行うこと
本体が人肌以下まで冷却されるまで、本体内に残った水を排出しないでください。熱湯が噴出し、ヤケドを負う恐れがあります。

長期間（1 ヶ月以上）使用しないときは、タンク内の水を排水して保管すること
タンク内の水が変質し、故障の原因となります。

アクセサリー接続口の O リングが装着されていない、もしくは損傷している場合には使用しないこと
スチームが漏れてヤケドの原因となります。

はじめてお使いになる前に

スチームクリーナーとは？

スチームクリーナーは高温のスチーム（蒸気）を吹き付けて汚れを落とすクリーナーです。

約 100℃のスチームで、洗剤などの化学製品を使わずに水だけで家中の汚れをきれいにします。床、キッチン、浴室の清掃をはじめ、さまざまな用途にお使いいただけます。

MEMO

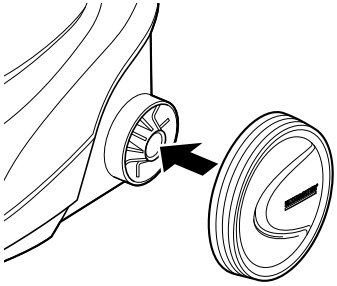
- 熱や水分に弱い材質、壁紙、プラスチックなどは変形・はがれなどの恐れがあります。目立たないところで試してから使用してください。

初回の準備

本体を組み立てる

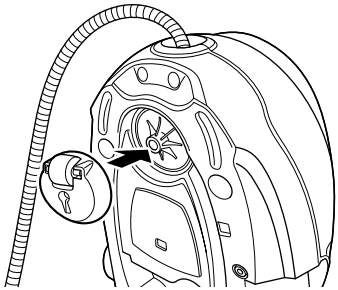
1 **本体にホイールを取り付ける**

カチッと音がするまで差し込みます。
確実にロックされ、外れないことを確認します。



2 **本体にキャスターを取り付ける**

カチッと音がするまで差し込みます。
確実にロックされ、外れないことを確認します。



MEMO

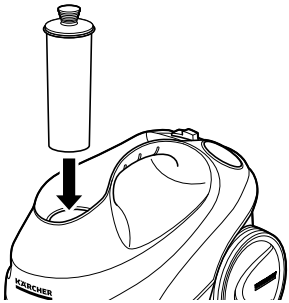
- 組み立て後は、ホイールとキャスターは取り外せません。

スケール除去カートリッジを取り付ける

1 **スケール除去カートリッジを取り付ける**

以下のことを確認し、スケール除去カートリッジを取り付けます。

- 電源スイッチがオフになっている
- 電源プラグがコンセントに差し込まれていない
- 本体が冷めている



MEMO

- スケール除去カートリッジを取り付けた後は、交換時期になるまでカートリッジを取り外さないようにしてください。
  » P.29「スケール除去カートリッジの交換」

水の硬度設定を変更する

本機を使用する地域によって、水道水の硬度設定を変更します。
この設定は、スケール除去カートリッジの交換時期に影響します。

1 水道水の硬度を確認する

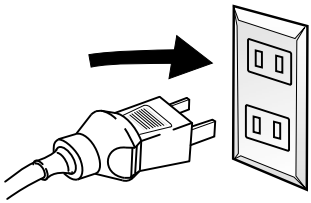
本機を使用する地域で供給されている、水道水の硬度を確認します。
本機の初期設定は、右表の [4：超硬水] です。
日本の水道水は、一般的に軟水もしくは中硬水に分類されます。
以下の手順に従って、硬度設定を変更してください。

硬度設定		mg/L
1	軟水	0-60
2	中硬水	61-120
3	硬水	121-180
4	超硬水	180 以上

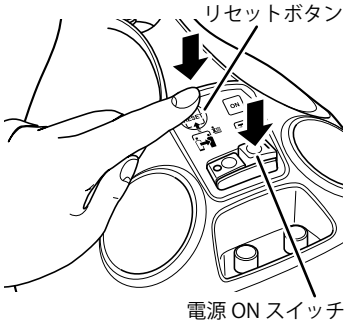
MEMO

- スケール除去カートリッジの交換時期は、水の硬度の設定が高いほど早まります。
- 使用する水道水の硬度が分からない場合は、管轄の水道局にお問い合わせください。

2 電源プラグをコンセントに差し込む

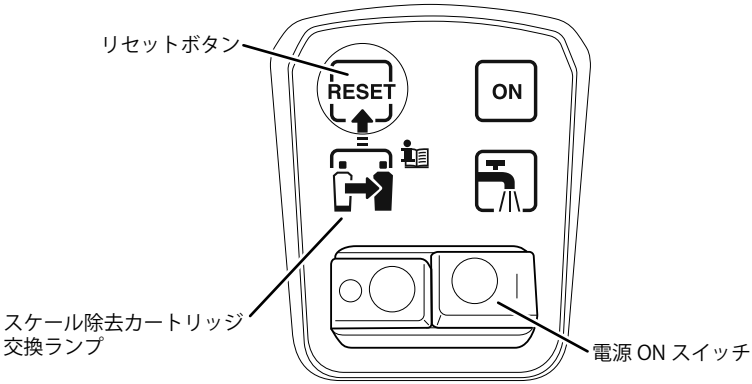


3 硬度設定モードに入る



リセットボタンを押しながら、電源を ON にします。リセットボタンはそのまま押し続け、スケール除去カートリッジ交換ランプ（赤色）が点滅を始めたら、指を放します。
以下のパターンでスケール除去カートリッジ交換ランプが点滅し、現在設定されている硬度設定を示します。

硬度設定		mg/L	点滅回数
1	軟水	0-60	1 回
2	中硬水	61-120	2 回
3	硬水	121-180	3 回
4	超硬水	180 以上	4 回

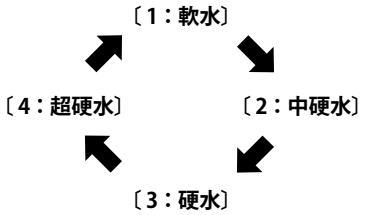


MEMO

- スケール除去カートリッジ交換ランプが点滅を始める前に指を放すと、硬度設定モードには入りません。
- 点滅開始後に何も操作せず 10 秒以上経過すると、スケール除去カートリッジ交換ランプが消灯し、硬度設定がキャンセルされます。一旦電源を OFF にして、もう一度手順 3 をやり直してください。

4 硬度設定を変更する

リセットボタンを押すたびに、右図の順番で硬度設定が切り替わります。

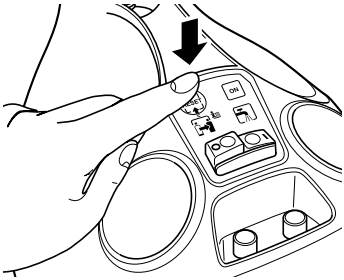


例 1）
設定を〔4：超硬水〕⇒〔1：軟水〕に変更する場合：
- リセットボタンを 1 回押す

例 2）
設定を〔1：軟水〕⇒〔3：硬水〕に変更する場合：
- リセットボタンを 2 回押す

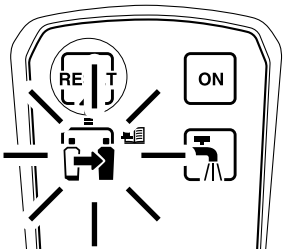
5 硬度設定を保存する

リセットボタンを 3 秒以上長押しします。スケール除去カートリッジ交換ランプが点灯すると、選択中の硬度設定で保存されます。指を放すとスケール除去カートリッジ交換ランプが消灯します。



MEMO

- 硬度設定を変更したあと、保存せずに 10 秒以上経過すると、変更がキャンセルされます。
- 現在の設定を知りたい場合は、手順 3 を行いランプの点滅回数を確認してください。



硬度設定については、当社ホームページにて更に詳しい情報をご確認いただけます。

www.kaercher.com/jp/service/support_hg/manual-videos/sc-3.html

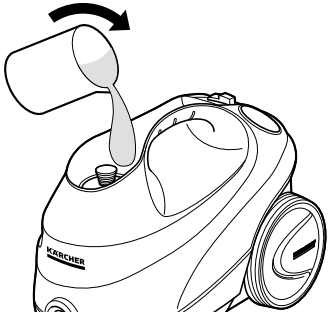
STEP 1：タンクに給水する

⚠警告	• **お湯を入れて使用しないこと** お湯を入れると機器が正しく作動せず、ヤケドを負う恐れがあります。 必ず常温の水道水を使用してください。
⚠注意	• **水道水のみを使用すること** 井戸水、アルカリイオン水、酸性水などを使用すると故障の原因になります。 • **溶剤（シンナーなど）、洗剤、油（ガソリンなど）、薬品などをタンクに入れて使用しないこと** 故障、ヤケド、健康被害の原因になります。

使用開始前に給水する

1 タンクに水道水を入れる

タンクに常温の水道水をゆっくりと注ぎます。
タンク容量：1.0 L



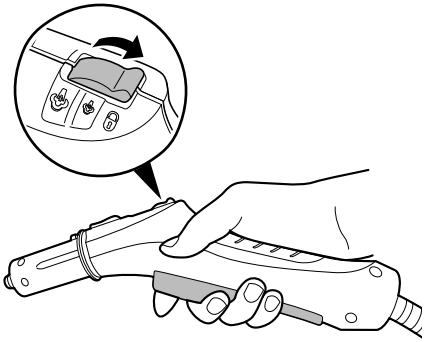
STEP 2：電源プラグをコンセントに差し込む

⚠警告	• **家庭用 100V のコンセントを単独で使用すること** 分岐タップや延長コードで他の機器と同時に接続すると、屋内配線の過熱につながり発火を引き起こす恐れがあります。 • **延長コードは、定格 15 A・1500 W 以上、プラグおよびソケットが防水仕様で 10 m 以下のものを使用すること** 屋内配線の過熱につながり発火を引き起こす恐れがあります。 • **延長コードリールはコードを完全に引き出して使用すること** 屋内配線の過熱につながり発火を引き起こす恐れがあります。 • **電源プラグは確実に差し込むこと** コンセントに接続した際にゆるみ、ガタつきがある場合、製品や電源プラグ、屋内配線の過熱につながり、発火を引き起こす恐れがあります。

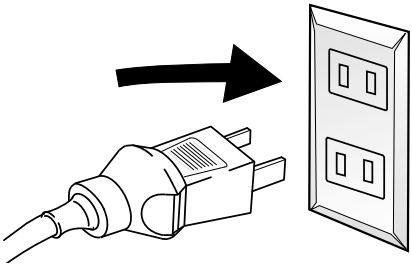
1 スチームレバーロックを確認する

1 スチームレバーロックがロック位置〔🔒〕になっていることを確認します。

2 スチームレバーを握り、レバーが動かないことを確認します。



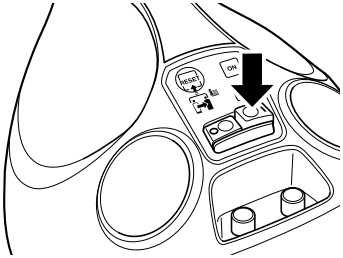
2 電源プラグをコンセントに差し込む

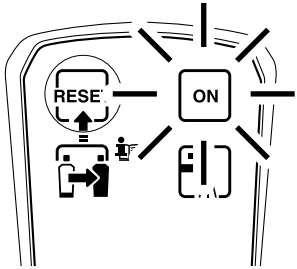


STEP 3：ヒートアップを行う

1 電源 ON スイッチを押し、ヒートアップを開始する

電源 ON スイッチ〔I〕を押します。
電源ランプが緑色で点灯し、ヒートアップが開始されます。





2 準備完了

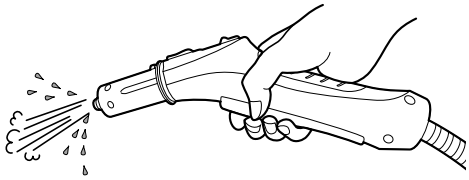
約 30 秒経過すると、使用準備完了です。

MEMO

- ヒートアップ終了までの時間は、水温と水量によって異なります。
- スケール除去カートリッジを取り付けた直後は、スチームが弱い、または少量の湯だけが出る場合があります。スケール除去カートリッジに水が回ってスチームが安定するまで、更に 30 秒以上かかることがあります。

洗浄を開始する

＜使い始めの注意点＞



使い始めは、お湯が出ます。洗浄を始める前にスチームレバーを握って、しっかりとスチームが出る状態になってから必要なアクセサリーを取り付けましょう。
アクセサリーの着脱を行うときは、事前に必ずスチームレバーをロックしてください。
» P. 20「各種アクセサリーの取り付け方」

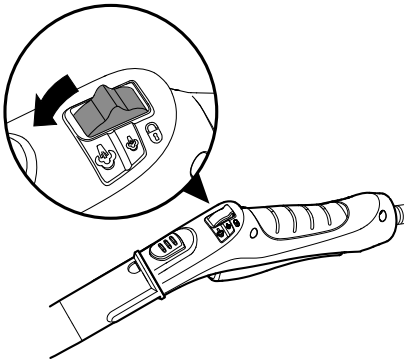
1 スチームレバーのロックを解除する

スチームレバーロックを前方にスライドさせ、スチームレバーのロックを解除します。
スチームレバーロックは、以下の 3 段階を選択できます。

スチーム強
スチームの噴出量は最大になります。

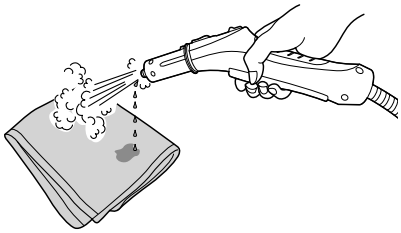
スチーム弱
スチームの噴出量が半分程度になります。

ロック
スチームレバーがロックされます。スチームは噴出しません。



2 スチームレバーを握り、スチームを出す

洗浄対象にスチームを当てる前に、スチームの噴出状態を確認してください。
安定しない場合は、排水口や使わない布などに向けて、30 秒程度スチームレバーを握ってください。



アクセサリーを取り付ける

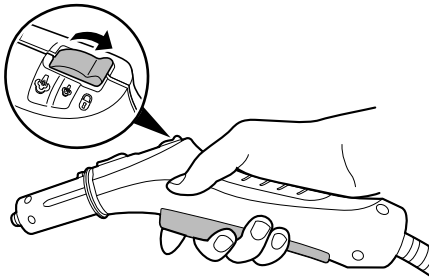
各種アクセサリーの取り付け方

⚠注意	• アクセサリーを着脱する前に、スチームレバーをロックしてください。誤ってスチームレバーに触れ、スチームが噴出しヤケドを負う恐れがあります。 • アクセサリーの着脱はアクセサリーが冷えてから行ってください。アクセサリー内部に残った熱湯が滴り、ヤケドを負う恐れがあります。 • アクセサリーは確実に取り付けてください。ロックされていない場合、スチームが漏れ、ヤケドを負う恐れがあります。

ノズルヘッドや延長パイプなどの各種アクセサリーは、ワンタッチで着脱できます。

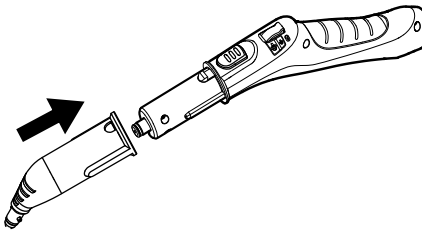
1 スチームレバーをロックする

スチームレバーロックをロック位置〔🔒〕にスライドさせ、スチームレバーをロックします。

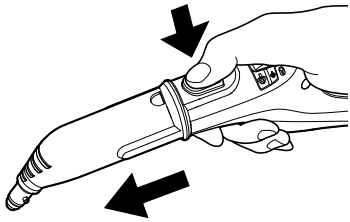


2 アクセサリーを差し込む

カチッと音がするまで差し込みます。確実にロックされ、抜けないことを確認します。



取り外すときは、アクセサリーロックボタンを押しながらアクセサリーを引き抜きます。

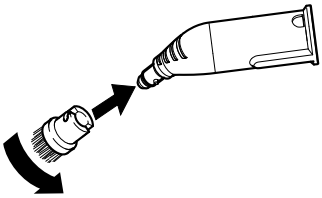


ノズルヘッドとブラシの取り付け

1 ブラシを取り付ける

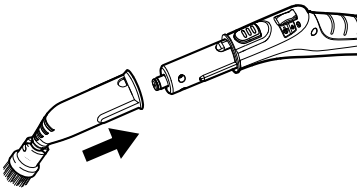
ノズルヘッド先端の突起にブラシ根元の溝を合わせて挿入し、右に回して固定します。

取り外すときは、ブラシを左に回して引き抜きます。



2 ノズルヘッドを取り付ける

カチッと音がするまで差し込みます。確実にロックされ、抜けないことを確認します。



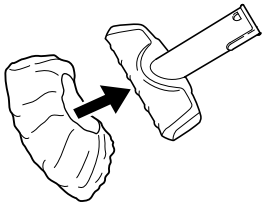
MEMO

- 洗浄を始める前に、スチームの噴出状態を確認してください。» P.19「<使い始めの注意点>」

ハンドブラシとハンドブラシ用マイクロファイバーカバーの取り付け

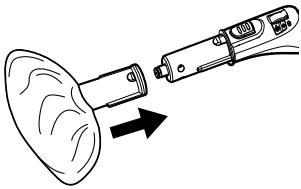
1 マイクロファイバーカバーを取り付ける

マイクロファイバーカバーをハンドブラシに被せます。



2 ハンドブラシを取り付ける

カチッと音がするまで差し込みます。
確実にロックされ、抜けないことを確認します。



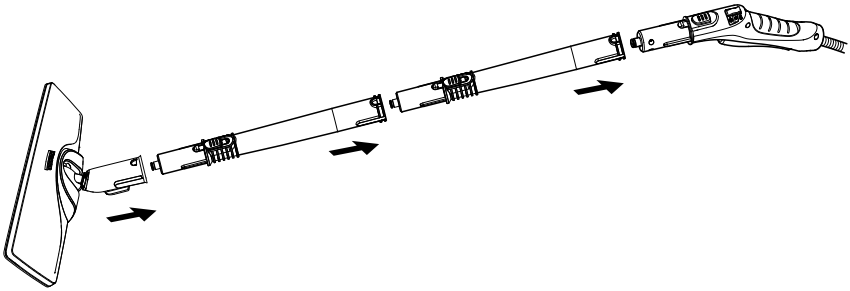
MEMO

- 洗浄を始める前に、スチームの噴出状態を確認してください。» P.19「<使い始めの注意点>」

イージーフィックス フロアノズルの取り付け

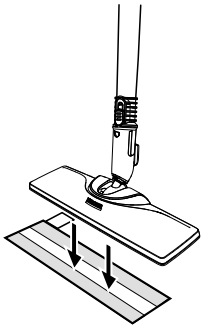
1 パイプ、フロアノズルを接続する

カチッと音がするまで差し込みます。
確実にロックされ、抜けないことを確認します。

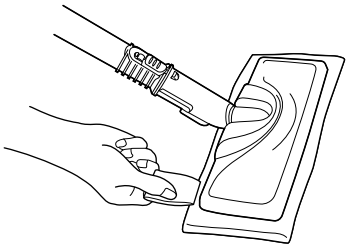


2 イージーフィックス フロアノズル用マイクロファイバークロスを取り付ける

マイクロファイバークロスの面ファスナー側を上に向けて置き、そこにフロアノズルを押し当てます。



取り外すときは、タグを持って下に引っぱりフロアノズルから剥がします。



MEMO

- 洗浄を始める前に、スチームの噴出状態を確認してください。
  » P. 19「<使い始めの注意点>」

いろいろな場所の清掃方法

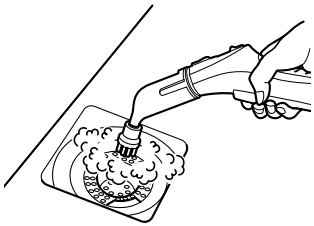
⚠注意	**• 洗浄前に材質を確認し、テスト洗浄を行ってください。洗浄部分の材質によっては、変色・変形など洗浄物を傷める恐れがあります。** **• 1 か所に留めてスチームを当てないでください。変色・変形など洗浄物を傷める恐れがあります。**

本機に同梱の『スチームクリーナー お掃除アドバイスブック』も併せてご覧ください。

MEMO

- 約 6 分以上スチームを連続噴射すると、ポンプ保護機能が働き、給水ランプ（赤色）が点滅しスチームが止まります。その場合は、一度電源を OFF にした後、再度電源を ON にしてください。
- 使用中に水がなくなったときは、すぐに給水して連続使用できます。 » P.26「使用中に給水する」

浴室・浴槽



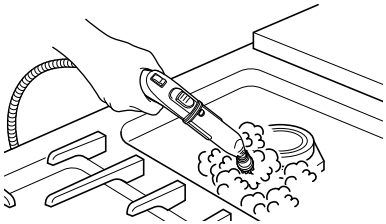
ノズルヘッド＋ブラシ

ノズルヘッドにブラシをセットして、こすり洗いします。

MEMO

- 何層にも重なっている汚れは、洗剤などが必要になる場合もあります。
- 表面についたカビは取れますが、色素がしみ込んで変色したものを落とす効果はありません。

ガステーブル・ガスコンロ



ノズルヘッド＋ブラシ
ノズルヘッド＋ブラシ＋タオル

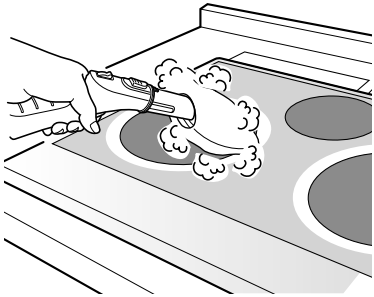
ノズルヘッドにブラシを取り付けてこすり洗いします。

MEMO

- コゲや汚れがこびりついている場合、完全に汚れが取り除けないことがあります。

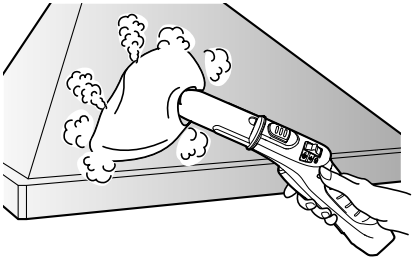
IH クッキングヒーター

ハンドブラシ＋マイクロファイバーカバー
カバーを付けたハンドブラシを IH クッキングヒーターに当てて、ゆっくりと動かします。



換気扇フード、キッチンの壁

ハンドブラシ＋マイクロファイバーカバー
カバーを付けたハンドブラシを当てて、ゆっくりと動かします。

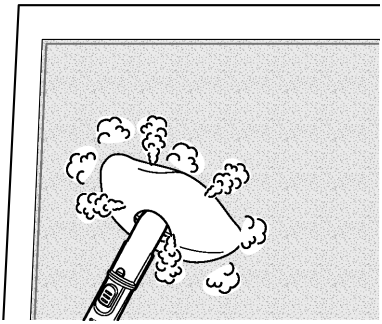


網戸

ハンドブラシ＋マイクロファイバーカバー
カバーを付けたハンドブラシを網戸に当てて、ゆっくりと動かします。

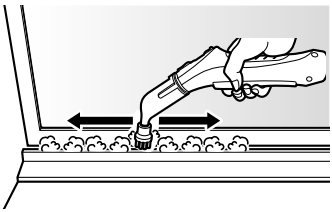
MEMO

- ハンドブラシは網戸に軽く当て、押しつけないようにしてください。

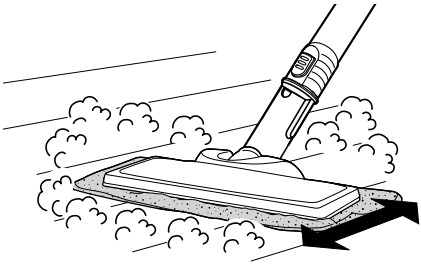


サッシレール

ノズルヘッド＋ブラシ
ノズルヘッドにブラシをセットして、こすり洗いします。
細い溝の汚れはノズルヘッドで吹き飛ばします。



畳・カーペット・フローリング



フロアノズル＋マイクロファイバークロス
マイクロファイバークロスを取り付けたフロアノズルを床に当てて、スチームでクロスを温めながら清掃します。

スチームを連続で出し続けると、すぐにクロスが濡れてきますので、以下の手順を繰り返します。

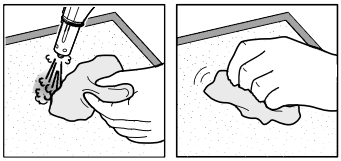
1 スチームレバーを 3 秒握りクロスを温める。
2 温まったらレバーを離して 3 秒程拭く。

スチームの吐出量が多い場合はスチームレバーロックを「弱」にしてください。
クロスが濡れてきたら交換してください。

MEMO

- フローリングでは、同じ場所でスチームを出し続けたり、クロスが熱い状態で床に放置しないでください。熱でワックスが変質する場合があります。

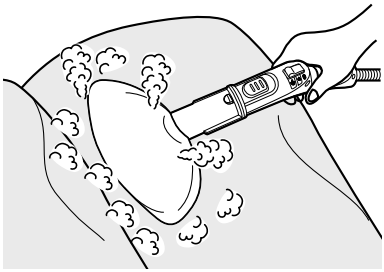
カーペットや布製ソファのシミは、以下の手順を数回繰り返します。



1 汚れのそばにタオルを用意し、ノズルヘッドを斜めにして汚れ部分にスチームを当て、奥のタオルに汚れを移します。
2 別の乾いたタオルでたたいて水分と汚れを取り除きます。

ソファ・車のシート（布製）

ハンドブラシ＋マイクロファイバーカバー
カバーを付けたハンドブラシをソファに当てて、ゆっくりと動かします。



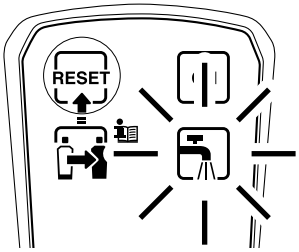
使用中に給水する

⚠警告	**• お湯を入れて使用しないこと** お湯を入れると機器が正しく作動せず、ヤケドを負う恐れがあります。 必ず常温の水道水を使用してください。
⚠注意	**• 水道水のみを使用すること** 井戸水、アルカリイオン水、酸性水などを使用すると故障の原因になります。 **• 溶剤（シンナーなど）、洗剤、油（ガソリンなど）、薬品などをタンクに入れて使用しないこと** 故障、ヤケド、健康被害の原因になります。

洗浄中に水が少なくなったら、タンクに給水することで続けて使用することができます。以下の手順で給水を行ってください。

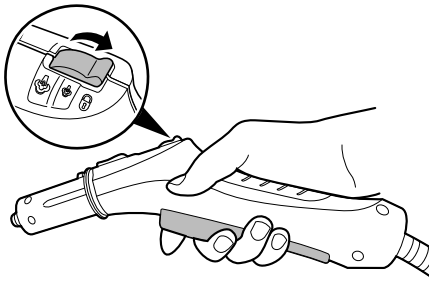
1 給水ランプ（赤色）が点灯したら、洗浄を中断する

給水タンク内の水が少なくなると、給水ランプ（赤色）が点灯します。
一旦洗浄を中断してください。



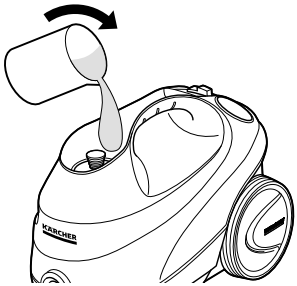
2 スチームレバーをロックする

スチームレバーロックをロック位置〔🔒〕にスライドさせ、スチームレバーをロックします。



3 タンクに水道水を入れる

タンクに常温の水道水をゆっくりと注ぎます。
タンク容量：1.0 L

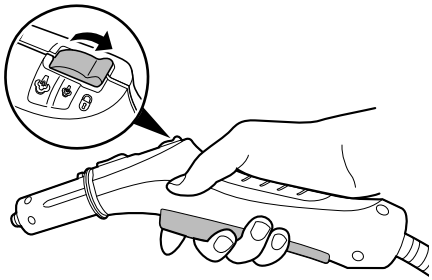


洗浄を中断、終了する

⚠注意	**• 長期間（1 ヶ月以上）使用しないときは、タンク内の水を排水して保管してください。タンク内の水が変質し、故障の原因となります。**

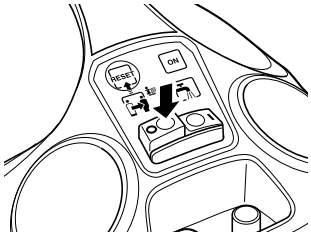
1 スチームレバーをロックする

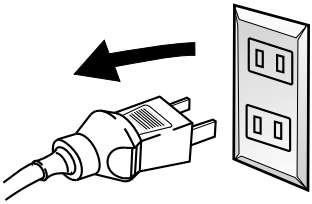
スチームレバーロックをロック位置〔🔒〕にスライドさせ、スチームレバーをロックします。



2 電源 OFF スイッチを押して電源を切り、電源プラグを抜く

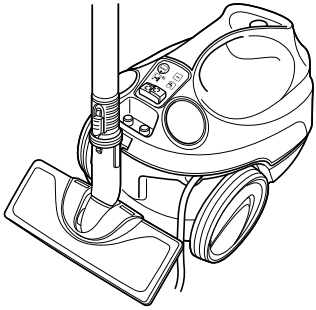
本体の電源 OFF スイッチ〔O〕を押します。
電源ランプが消灯したことを確認し、電源プラグをコンセントから抜きます。





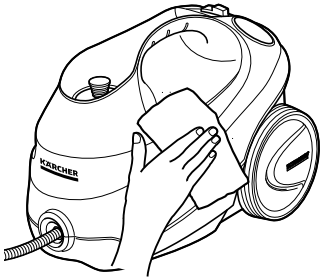
MEMO

- 作業を中断する場合、フロアノズルを本体背面のホルダーに差し込んでおくことができます。



約 1 分間以上中断した後に作業を再開する場合は、ホース内の蒸気が冷えて湯が溜まっています。排水口や使わない布などに向けて 30 秒程度スチームレバーを握り、ホース内の湯を排出してください。

3 本体のお手入れを行う



タオルなどの柔らかい布をぬるま湯か中性洗剤に浸し、固く絞って本体の汚れや水滴を拭き取ります。

使用したマイクロファイバーカバーやマイクロファイバークロスは、繰り返し洗って使用できます。
中性洗剤で洗って乾燥させてください。

MEMO

- マイクロファイバーカバーやマイクロファイバークロスは洗濯機で洗うことができます。
- 柔軟剤は使用しないでください。

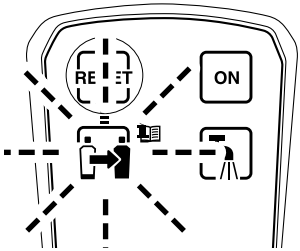
スケール除去カートリッジの交換

⚠注意	**• スケール除去カートリッジの交換を怠ったり、カートリッジを取り付けていない状態で使用したりしないでください。深刻な故障の原因となります。**

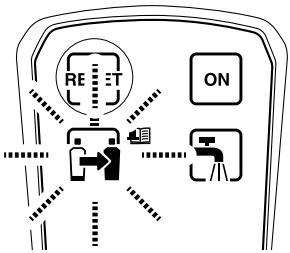
スケール除去カートリッジの交換時期

水道水の硬度設定により、スケール除去カートリッジの交換時期が変わります。
スケール除去カートリッジの交換時期が近付くと、スケール除去カートリッジ交換ランプの点滅で知らせます。

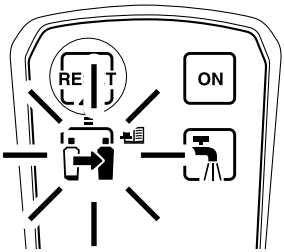
カートリッジの使用時間が交換時期まであと 2 時間になると、スケール除去カートリッジ交換ランプが点滅を始めます。



使用時間が交換時期まであと 1 時間になると、スケール除去カートリッジ交換ランプが早い点滅に変わります。

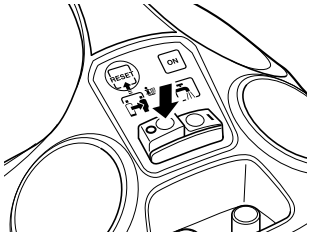


交換時期に到達すると、スケール除去カートリッジ交換ランプが点灯に変わり、自動的に電源が OFF になります。

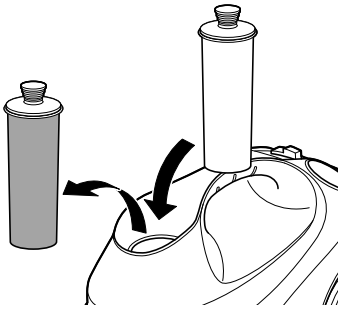


スケール除去カートリッジを交換する

1 本体の電源を切る



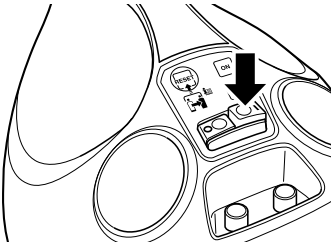
2 スケール除去カートリッジを取り外し、新しいスケール除去カートリッジを取り付ける



MEMO

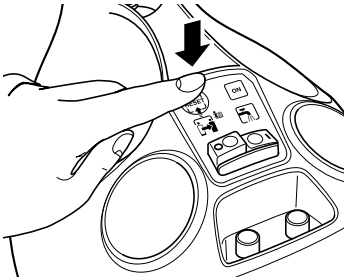
- 交換用のスケール除去カートリッジは、別途お買い求めください。» P. 35「補修部品」

3 本体の電源を ON にする



4 使用時間をリセットする

リセットボタンを 4 秒以上長押しします。スケール除去カートリッジ交換ランプが消え、カートリッジの使用時間がリセットされます。



点検と保管

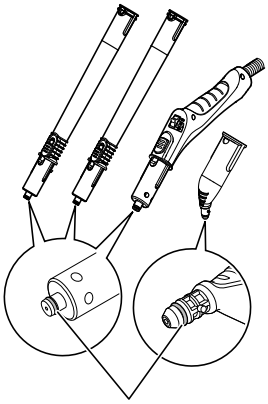
⚠警告	**• O リングに亀裂やひび割れがある場合は、使用しないでください。スチームが漏れ、ヤケドを負う恐れがあります。**

使用前点検

使用前に、各アクセサリーの O リングを点検してください。
O リングに亀裂やひび割れ、脱落などが認められる場合は、新品の O リングに交換してください。

各アクセサリー

接続部分の O リングを確認してください。
亀裂やひび割れ、脱落などが認められる場合は、新品に交換してください。



定期点検

末永く安全にお使いいただくため、有償にて定期点検を受けることをお勧めします。

累計作業時間が 500 時間毎に、ケルヒャー ジャパン修理センターで有償点検を受けてください。

点検を受けずにそのまま使用を続けた場合、加熱不良、過熱、スチーム吐出不良などのさまざまな不具合が生じる可能性があります。

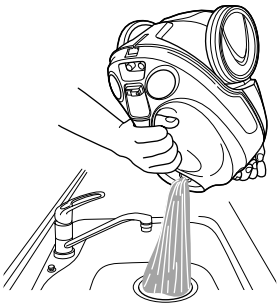
交換部品のお求めや有償定期点検のご相談は、お買上げの販売店またはお客様専用ダイヤルまでお問い合わせください。

保管

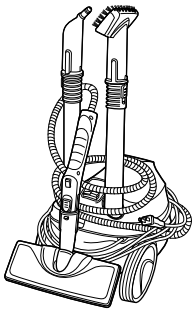
⚠注意	• 長期間使用しないときは、タンク内の水を排水して保管してください。タンク内の水が変質し、故障の原因となります。 • 凍結しない場所に保管してください。

本機を長期間使用しない場合は、以下のように収納します。

1 タンク内の水を捨てる



2 アクセサリー類を収納する



1 ホース一体型ヘッドにフロアノズルを取り付けます。

2 2 本のパイプにノズルヘッドとハンドブラシを取り付けます。

3 ブラシホルダーにブラシを取り付けます。

3 パイプをパイプホルダーに差し込み、スチームホースと電源コードを本体に巻き付ける

4 フロアノズルをフロアノズルホルダーに差し込む

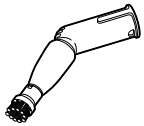
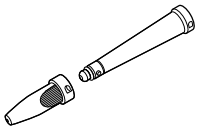
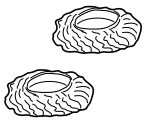
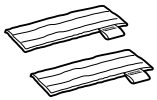
困ったときは

故障かな？と思ったら以下のことをお確かめください。
それでも解決しない場合は、お客様専用ダイヤル（0120-60-3140）までお問い合わせください。

このようなとき	考えられる原因	対処方法
スチームが出ない（電源ランプが消灯している）	電源プラグがコンセントに差し込まれていない	▶ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	本体の電源が ON になっていない	▶ 本体電源を ON にしてください。
	電源コードが破損している	▶ お買上げの販売店またはケルヒャー ジャパンに修理を依頼してください。
	コンセントに電気がきていない	▶ 別のコンセントを使って電源ランプが点灯するか確認してください。
スチームが出ない（給水ランプが**点滅**している）	ポンプの保護機能が働いている	▶ 一度電源を OFF にしたあと、再度電源を ON にしてください。
スチームが出ない（給水ランプが**点灯**している）	水が不足している	▶ 給水を行ってください。
スチームが水っぽいお湯になる	作業開始直後や中断からの再開直後、または新しいスケール除去カートリッジを取り付けた直後である	▶ トリガーガンをしばらく握り続けてください。スチームが安定するまで 30 秒以上かかります。
スケール除去カートリッジ交換ランプが点滅している	交換時期が迫っている	▶ スケール除去カートリッジを交換し、使用時間をリセットしてください。
	スケール除去カートリッジ交換後に、使用時間がリセットされていない	▶ リセットボタンを 4 秒以上長押しし、使用時間をリセットしてください。
本体の電源が自動的に OFF になる	スケール除去カートリッジの交換時期が過ぎている	▶ スケール除去カートリッジを交換し、使用時間をリセットしてください。
	スケール除去カートリッジ交換後に、使用時間がリセットされていない	▶ リセットボタンを 4 秒以上長押しし、使用時間をリセットしてください。
本体下部から水漏れがある	本体内部部品が劣化・破損している可能性あり	▶ 使用をただちに中止し、お買上げの販売店またはケルヒャー ジャパンに修理を依頼してください。
ノズル などの接続が 固い	接続部分の O リングが硬化、または損傷している	▶ 接続が固い場合は水をつけるとスムーズに接続できます。硬化または損傷している場合は、お買上げの販売店またはケルヒャー ジャパンにお問い合わせいただき、新しいものと交換してください。

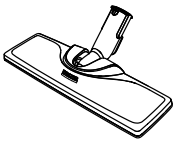
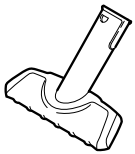
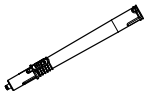
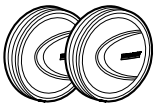
オプションアクセサリー一覧

仕様変更などにより製品の形状が図と一致しない場合があります。
注文番号は予告なく変更になる場合があります。
ケルヒャー製品取扱店、またはケルヒャー ジャパン 直営オンラインショップでも購入できます。

ブラシ 4 個組 **黒 2 個 黄 2 個** **注文番号：2.863-282.0** **JAN コード：** **4054278420684**	**ブラシ 3 個組** **（真ちゅう製）** **注文番号：2.863-061.0** **JAN コード：** **4002667015577**
 **スチームターボブラシ** **注文番号：2.863-159.0** **JAN コード：** **4039784060142**	 **スポットノズルセット** **注文番号：2.863-263.0** **JAN コード：** **4054278315911**
ビッグブラシ **注文番号：2.863-022.0** **JAN コード：** **4054278042732**	 **ビッグブラシ用カバー** **2 枚組** **注文番号：2.863-243.0** **JAN コード：** **4054278235646**
 **イージーフィックス** **フロアノズル用** **マイクロファイバークロス** **セット 2 枚組** **注文番号：2.863-296.0** **JAN コード：** **4054278479033**	**ハンドブラシ用マイクロ** **ファイバーカバー** **2 枚組** **注文番号：2.863-270.0** **JAN コード：** **4054278317274**
窓用ノズル **注文番号：2.863-025.0** **JAN コード：** **4054278180502**	

補修部品

仕様変更などにより製品の形状が図と一致しない場合があります。
注文番号は予告なく変更になる場合があります。
ケルヒャー製品取扱店、またはケルヒャー ジャパン 直営オンラインショップでも購入できます。

	**イージーフィックス フロアノズル** **注文番号：4.130-035.0** **JAN コード：** **4054278506227**		**ハンドブラシ** **注文番号：2.884-280.0** **JAN コード：** **4039784048065**
	ノズルヘッド **注文番号：4.130-048.0** **JAN コード：** **4054278514581**		**パイプ** **※１本での注文番号です。** **注文番号：4.127-024.0** **JAN コード：** **4039784453395**
	パイプ、ホース一体型ヘッド用 O リング **注文番号：6.362-922.0** **JAN コード：** **4002667185829**		**ノズルヘッド用 O リング** **注文番号：6.362-186.0** **JAN コード：** **4002667181494**
	**ホイール　2 個** **注文番号：5.515-046.0** **JAN コード：** **4054278078823**		**キャスター** **注文番号：4.512-073.0** **JAN コード：** **4054278078618**
	スケール除去カートリッジ **注文番号：2.863-018.0** **JAN コード：** **4054278026213**		

保証書

お買い上げいただいたケルヒャー製品に万一不具合が生じた場合には、この保証規定に従い保証いたします。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

■ 保証の内容

お買い上げいただきました製品を構成する純正部品の材料または製造上の不具合が起きた場合、ケルヒャー ジャパン株式会社修理センターで無料修理をいたします（この無料修理を保証修理といいます）。保証修理は部品の交換あるいは補修により行います。また、取り外した不具合部品は当社所有といたします。保証修理を受けられる期間は新品を購入した日から１年間とします。

■ 保証できない事項

● 修理の際の輸送費用

● 次に示すものに起因すると判定される故障は、保証修理いたしません。
- 取扱説明書の指示に反する使用
- 保守整備の不備または間違い
- 当社が提示している仕様の限界を超える使用（規定以上の長さの延長コードを使用した場合の電圧降下や、業務などで定格使用時間を著しく超えた連続使用など）
- 当社が認めていない改造
- 純正部品および指定する油脂類以外の使用
- ご使用者の不注意による故障（凍結、ボイラー内への異物混入、落下による故障など）
- 業務で使用した場合

● 次に示すものは保証修理いたしません。
- 経年変化により発生した不具合
- プラスチックカバーなどの自然退色、ホースのひび割れ、O リングの劣化、部材劣化に伴う性能低下など
- 使用に際し品質、機能上影響のない感覚的現象（音、振動など）
- 台風、水害、雪害などの天災による不具合
- 薬品、塩害などに起因する不具合

● 次に示すものの費用は負担いたしません。
- 消耗品（油脂、ノズル、O リング、パッキン、バルブ、ホース、ブラシ、パット、クロス、およびこれらに類する消耗品）
- ケルヒャー ジャパン以外での修理
- 点検、清掃、調整、及び定期点検整備
- この保証書に示す条件以外の補修費用など
- 本機を使用できなかったことによる不便さ及び損失など（休業損失、商業損失など）
- 洗浄対象物に損傷、破損、変色などが生じた場合
- 正しく操作せずにケガを負った場合

● 出張修理はいたしません。

修理はお買い求めいただいた販売店またはケルヒャー ジャパンへご依頼ください。

■ 保証の適用

この保証は日本国内で使用される当社製品のみに適用されます。
海外へ持ち出す場合は、その時点で保証が抹消されます。

■ 保証修理の受け方

保証修理をお受けになる場合は、下記保証書の各項目にご記入いただき、お買い上げいただいた際のレシート／納品書を添付の上、保証修理をお申し付けください。
製造番号は、製品の底面に貼られている銀色のラベルに記載されています。

■ 保証修理の申し込み方法

ご購入の際に受領されたレシートあるいは納品書と下記保証書をご用意の上、下記 URL、または当社ホームページ中段のリンク『家庭用 修理・アフターサービス』⇒『修理申込み方法』にアクセスしていただき、製品の修理をお申込みください。
[家庭用製品] 修理申込み方法
www.kaercher.com/jp/service/support_hg/repair_application.html
ご不明な点がございましたらお客様専用ダイヤルまでご連絡ください。
お客様にご記入いただいた修理申込書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

製品名	SC 3 EasyFix
保証期間	1 年
製造番号【シリアル No.】	
お買い上げ日	
お客様情報	お名前： ご住所： 電話番号：
販売店情報	店名： 住所： 電話番号：
故障状況	

ケルヒャー ジャパン株式会社　www.kaercher.com/jp/
本社住所：〒 222-0032 神奈川県横浜市港北区大豆戸町 639 番 3
TEL：045-438-1400

製品を長くご愛用いただくために、ユーザー登録していただいたお客様にサポート情報やキャンペーン情報をメールでお送りしています。
下記 URL、または当社ホームページ中段のリンク『家庭用製品 ユーザー登録』⇒『ユーザー登録（1 年保証）はこちら』にアクセスいただき、ご登録ください。

ケルヒャー家庭用製品ユーザー登録
www.kaercher.com/jp/service/support_hg/warranty.html

製品に関するお問い合わせ

お客様専用ダイヤル

0120-60-3140

受付日　：　月曜日〜金曜日（祝日、当社休日を除く）
受付時間：　9:00 〜 12:00、13:00 〜 17:00

修理品送り先

〒981-3408　宮城県黒川郡大和町松坂平 3-2

ケルヒャー ジャパン株式会社
仙台修理センター　宛

0120-60-3140

修理品をお送りいただく際には、ご購入日がわかるもの（保証期間内に限る）と 38-39 ページの保証書に故障状況をご記入の上、必ず同梱してください。

1. 保証書が 38-39 ページに添付されています。レシート、領収書、販売証明書、納品書などのご購入日がわかるものと一緒に大切に保管してください。
2. 保証書の保証内容、保証規定をよくお読みください。
3. 保証期間は保証書に記載されています。
4. 保証期間終了後の修理につきましては、下記の QR コードより、当社ホームページの「家庭用製品 修理・アフターサービス」にてご確認いただけます。もしくは、製品をご購入いただいた販売店または上記お客様専用ダイヤルまでお問い合わせください。